



スペースはゆったり。ゴロゴロできるスペースがあちこちに。窓も多く、明るい図書館。楽しい空間づくりを演出。

虹の階段を昇るとお庭へ。子どもたちも大好きだそうです。

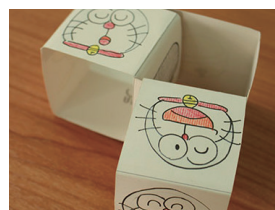
展示しています。子どもにどんな絵本かが伝わるようにと。それでおもしろそうだなあという本を手にとってもらえればうれしいな」と思っています。小さいうちから本と触れ合い、本を読むことに慣れると、大きくなってからもずっと本が身近な存在になります。自然に本を楽しんでほしい。それがこの図書館の思いです。

本を通じて交流も育む図書館

ブックさんたちは楽しいイベントを毎週開催しています。例えば子ども向けイベントでは「お花」をテーマを決め、紙でお花を作ったり、お花の歌を歌ったり、お花の本を読んだり。遊びと音楽と物語を組み合わせ、子どもたちに楽しい体験をしてほしいと考えています。

ここでは静かにしなくても大丈夫。図書館の一角でお父さんがひざの上に子どもを乗せて読み聞かせをしてもいいんです。そのお父さんが上手に読んでいたら、ほかの子どもたちが来て一緒に聞くのもいい。「どうやったらそんなに上手に読めるんですか」と親同士の交流が生まれてもいい。本を通じて、親子、子ども同士、親同士、いろんな交流が生まれるのです。

ブックさんは瞳を輝かせて話します。「この図書館には本が好きな人たちが集まってきます。子どもも大人もみんな。親が子どもに読んであげる姿も愛情がいっぱいです。たくさんのお愛があふれるこの職場が大好きです」。



上…カゴについている動物イラスト。本についているイラストと合わせればお片づけもできます。下左…ブックさんお手製の人形、サントーンくんたち。下右…おもちゃも手作りです。



同僚のオーさんと。図書館を愛する2人でいつもアイデアを出し合っています。

マレットファンとの出会いは？ How did you meet Maletfan?

児童文学学科の学生だった頃、久美さんやムアイさんたちが開催したワークショップに参加しました。そこで布を使ったり牛乳パックをリサイクルした手作りおもちゃを習い、「こんな身近なものでこんなに簡単に楽しいものができるんだ！」と大感激。それから自分で布を買って人形を作るようになりました。数年経ち、TKパークで開催されたえほん展に参加すると、知っている面々が！その再会以来、マレットファンのイベントをちょくちょくお手伝いしています。最初に学んだ手作りおもちゃの経験は宝物。今もいろんなおもちゃ作りを続けています。職場の図書館でも、布人形を作ってイベントで活用したり、子どもたちと一緒に紙工作をしたり。どれも子どもたちに大人気です。

ブックさんのマレットファン（夢のたね）は？
What's your "Maletfan"?

小さいうちから本となかよしになって本の楽しさを知ってほしいなと思います。子どもたちのよこぶ顔が大好きです。